

36. 信濃川（しなのがわ）

季節ごとの河川利用者数をみると、春季休日の5月5日（こどもの日）に53,622人が河川を利用しており最も多い。当日は信濃川下流のやすらぎ堤にて、イベント「やすらぎ堤川まつり」が開催され、中流部では高水敷が水田や畑地として利用されており、田植えシーズン中のため農耕者が多い。千曲川のスポーツ公園の利用者も多かったためだと考えられる。

冬季は典型的な日本海型気候で、天候に恵まれず、外出に不向きな日が多かったため、利用者が減ったと考えられる。

信濃川水系の年間河川空間利用者総数（推計）は約545万人である。沿川市区町村人口からみた年間平均利用者数は約1.8回／人となっている。

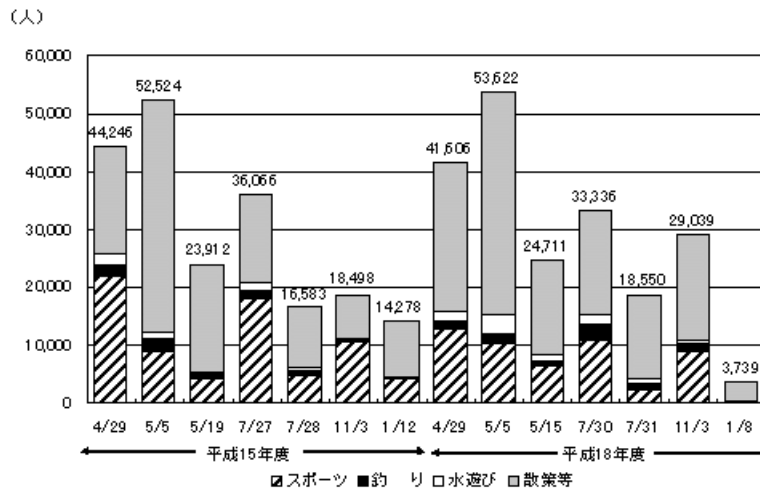
利用形態別では散策等が66%と最も多く、次いでスポーツが25%となっている。スポーツのほとんどが信濃川下流部と千曲川での利用である。釣りは5%、水遊びは4%であり、全体の利用に対する割合は小さい。

利用場所別では、高水敷が67%と最も多く、次いで堤防が25%で、この2つで全体の92%を占める。

平成18年度は平成15年度と比べスポーツの利用者が減り、散策等の利用者が増えている。

7月の千曲川での出水による高水敷き施設（グラウンド等）が冠水により、一時期使用できなかったこと等が影響していると考えられる。

各調査日の利用者数



利用形態別・利用場所別利用状況

区分	項目	年間推計値 (千人)		利用状況の割合			
		平成15年度	平成18年度	平成15年度		平成18年度	
利用形態別	スポーツ	2,810	1,388	散策等(54%)		スポーツ(41%)	
	釣り	223	252	水遊び(2%)		釣り(3%)	
	水遊び	132	191	堤防(20%)		水遊び(4%)	
	散策等	3,725	3,615	水面(1%)		散策等(66%)	
別合計		6,889	5,445	高水敷(75%)		釣り(5%)	
利用場所別	水面	46	169	高水敷(67%)		水面(3%)	
	水際	309	290	水際(4%)		堤防(25%)	
	高水敷	5,141	3,626	高水敷(67%)		水際(5%)	
	堤防	1,394	1,361	水際(4%)		高水敷(67%)	
	別合計		6,889	5,445	高水敷(67%)		水際(5%)

水系位置図

[信濃川下流](#) [信濃川1](#) [信濃川2](#)
[信濃川\(千曲川1\)](#) [信濃川\(千曲川2\)](#)

[施設一覧表\(下流\)](#) [施設一覧表](#) [施設一覧表\(千曲川\)](#)